

0904

0903

號五十四

決行指定

決裁指定

保存期限

房官臣大		課局務主		大臣 陸	件名 陸滿機密受第七十八號 滿洲派遣第三、第九、第十六師團、同留守部隊ノ編成改正 要領、同細則、同件	番受 領額	政務次官 回付 決裁前 後 課名 各局課	
了結	領受	出提	領受					號番
昭和 年 八月十日	昭和 年 八月三日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日					
(裁決)行決 覽回後		帶連		局長 主務 政務 參與官 書記官 審案 筆記者	其三七欠	起元應(課)名 參謀本部	決行(決裁)後 回覽課名	
局長		局長						
長課		長課						

陸軍

四五

0904

0903

號五十四

房官位大		課局務主	
了結	領受	出提	領受
昭和	昭和	昭和	昭和
年	年	年	年
八月	八月	月	月
十日	三日	日	日

(裁決)行決
覽回後

長局

帶連

長局

長課

長課

局長

主務課長

主務課員

高級副官

主務副官

主務副官
官房御用掛
主務課員

政務

參與官

書記官

審案
筆記者

保存期限

件名

陸滿機密受第六十八號
滿洲派遣第三、第九、第十六師團、同留守部隊、編成改正
要領、同細則、件

政務次官 回付 決裁前
參與官 回付 決裁後
課名 各局課

決行(決裁)後
回覽課名

陸軍

四五

陸滿機密

參謀總長一四五案

首題ノ件ニ付八月二十六日附陸軍部第三〇號第一
照會ノ趣具存ナシ

陸滿機密第二五號

昭和十年八月廿四日

上奏案

滿洲派遣第三、第九、第十六師團、同留守部隊編

成改正要領制定方施行ノ件

滿洲派遣第三、第九、第十六師團、同留守部隊編成改正要

領制定ノ件 允裁相成候ニ付テハ別紙軍令案一通

之力施行ヲ命セラレ度謹テ奏ス

九三

取滿洲派遣第三、第九、第十六師團、同留守部隊編成改正要
領ヲ制定シ之カ施行ヲ命ス

御名 御璽

昭和十年 月 日

陸軍大臣

軍令陸甲第

別紙ノ通

軍令陸甲第十號

附言

別紙ノ通

滿洲派遣第三、第九、第十六師團、同留守部隊編成、改

正要領細則規定ノ件

滿洲派遣第三、第九、第十六師團、同留守部隊編成、改
正要領細則規定ノ件

昭和十年九月三日



2060

軍事機密

陸海機密第六十八號

參謀本部 臨時檢査 三〇 號第一

滿洲派遣第三、第九第十六師團、同留守部隊ノ
編成改正要領、同細則起案ノ件照會

昭和十年八月二十六日 參謀總長 載 仁 親

陸軍大臣 林 銑十郎 殿

首題ノ件ニ關シ別冊ノ通起案セシニ付異存ナクハ要領ニ在リテハ
可仰 允裁、細則ニ在リテハ令達方取計ハレ度照會ス



陸



本館蔵

極秘

六拾部内第

二號

昭和十年八月十四日
參謀本部第一課

滿洲派遣第三、第九第十六師團、
同留守部隊、編成改正要領

決定案

分區	部	隊	編成	管理官
團長	第三師	第九師	第十六師	團長
師團長	師團長	師團長	師團長	師團長
摘	要			

第二條 本要領ニ依リ編成改正スル部隊其ノ編制、編成管理官ヲ左ノ如ク定ム

第一條 本要領ハ滿洲派遣第三、第九、第十六師團、同留守部隊ノ編成改正ニ關スル事項ヲ定ム

本要領中特ニ規定セサル事項ニ關シテハ陸軍勅員計畫令、昭和十年軍令陸甲第八號滿洲派遣第九師團、同留守部隊竝騎兵第三旅團編成派遣要領其他關係諸條規ヲ準用スルモノトス

滿洲派遣第三、第九、第十六師團、同留守部隊ノ編成改正要領

滿洲派遣師			團									滿洲派遣師		
騎兵聯隊留守隊	步兵聯隊留守隊	師團司令部留守部	輜重兵中隊	通信隊	工兵大隊	山砲兵聯隊	野砲兵聯隊	騎兵聯隊	步兵聯隊	步兵旅團司令部	師團司令部	騎兵聯隊留守隊	步兵聯隊留守隊	師團司令部留守部
附表第三	附表第十一	附表第十	附表第九	附表第八	附表第七	附表第六	附表第五	附表第四	附表第三	附表第二	附表第一	附表第三	附表第十一	附表第十
一	四	一	一	一	一	一	一	一	四	二	一	一	四	一
一	四	一	一	一	一	一	一	一	四	二	一	一	四	一
一	四	一	一	一	一	一	一	一	四	二	一	一	四	一

現滿洲派遣第三、第九、第十六
 師團及同留守部隊、各關
 係部隊ヲ編成改正ス但シ
 工兵第九大隊、第九師團通
 信隊、工兵第九大隊留守隊
 ハ之ヲ新設シ步兵旅團司令部
 第、第十師團各步兵聯隊
 留守隊ハ現在、各當該部隊
 ヲ其儘之ニ充當スルモノトス

備考	團留守部隊		
	工兵大隊留守隊	山砲兵聯隊留守隊	野砲兵聯隊留守隊
陸軍平時編制第五條ノ規定ニ依リ第三第九第十六師團ノ編 合内ニ在ル本表以外ノ部隊ハ依然殘置部隊トス	附表第十五	附表第十四	附表第十三
	一	一	一
	一	一	一
	一	一	一

派遣部隊 通信隊、輜重、及同部隊内ノ大(中)隊等ハ各平時ノ名稱ヲ附スルモノトス

第九師團長ノ編成スル通信隊ニハ第九師團通信隊ノ名稱ヲ、工兵大隊留守隊ニハ工兵第九大隊留守隊ノ名稱ヲ附シ又第九師團歩兵聯隊内ノ機關銃中隊及第九師團留守隊内ノ中隊ハ第一ヨリ一連ノ番號工兵大隊留守隊ノモノヲ附スルモノトスニ在リテハ第三中隊トス

前二項以外ノ部隊及部隊内ノ中隊等ハ現在ノ名稱ヲ用フルモノトス

第三條

編成管理官ハ別ニ命令ヲ用フルコトナク昭和十年十二月留守部隊ニ在リテハ十一月ヨリ左記各號ニ依リ編成改正ヲ實施スルモノトス

一、各部隊編成改正ノ為所要ノ人馬ハ編成管理師團ノ現在人馬昭和八年(含ム)以前徵集兵ヲ除ク及特ニ陸軍大臣ノ配屬スルモノヲ用ヒ已ムヲ得サレハ當分ノ内編成改正各部隊ノ定員(數)ヲ缺クコトヲ得但シ下士官ノ缺員ハ陸軍平時編制第二十三條ノ規定ニ依リ伍長勤勞上等兵ニ準スルモノヲ含ムヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

二、各師團工兵大隊ハ第三中隊以外ノ者ヲ以テ編成

改正シ又第九師團各歩兵聯隊ノ一機関銃中隊及
通信隊ハ之ヲ集成スルモノトス

三、派遣各部隊ノ編成改正ハ内地人馬ノ滿洲到着ニ
從ヒ又留守部隊ノ編成改正ハ在滿人馬ノ内地到
著ニ從ヒ逐次之ヲ行フモノトス

四、本編成改正ノ爲生スル各部隊ノ過剩人馬ハ之ヲ
各當該部隊ノ定員(數)外トス其ノ處理ニ關シテハ
陸軍大臣、參謀總長協議決定ス

五、編成及編制改正部隊ノ行李ハ之ヲ編成セサルモ
ノトス

第四條 本編成改正ニ伴ヒ平時部隊臨時編成ニ生スル
人員(數)ハ逐次之ヲ補填スルモノトス

第五條

派遣師團兵器部長ハ師團長ニ隷シ部務ヲ掌

理シ師團ノ兵器業務

彈藥ノ補給ニ關スル計畫ヲ除ク

ヲ掌リ且師團一

般ノ兵器事務ヲ監督ス

師團兵器部長ハ其ノ業務ニ關シ關東軍兵器部長ノ

指示ヲ受クルモノトス

第六條

本要領實施ニ伴ヒ内地(滿洲國)ヨリ滿洲國(内

地)ニ派遣(歸還)セシムヘキ人馬ハ大連上陸又ハ日滿

國境通過(大連乘船又ハ日滿國境通過)ノ時ヲ以テ派

遣師團長ノ直接指揮下(留守司令官ノ直接指揮下)ニ

入ルモノトス

第七條

編成管理官ハ編成改正完了セハ速ニ其ノ完

結ヲ陸軍大臣參謀總長ニ報告シ且編成改正部隊將

校同相當官准士官ヲ含ム、高等文官職員表、人馬一覽表並編
 成改正完結日一覽表ヲ前諸官ニ呈出スルモノトス
 第八條 本要領實施ニ關スル細部ノ事項ハ陸軍大臣、
 參謀總長協議決定ス

附則

- 一、本要領ニ據ル編成改正部隊ハ臨時編成部隊トス
- 二、本要領實施ノ爲所要ノ人馬ハ陸軍大臣ニ於テ編
 成改正著手前關係各部隊ノ定員外トシテ豫メ之
 ヲ配屬スルコトヲ得
- 三、本要領實施ニ伴フ昭和十年度動員計畫ノ改變ニ
 關シテハ臨時指示ス

附表第一

師團司令部編制表

階級	區分	師團長	幕		條		師團兵器部	師團經理部	師團軍醫部	師團獸醫部	師團法務部	計
			師團參謀部	師團參謀部	師團副官部	師團副官部						
中將	大佐同 相當官	一	參謀長 一	參謀 一	副官 一	副官 一	部長 一	部長 一	部長 一	部長 一	部長 一	二
高等文官	中佐同 相當官		參謀 一	參謀 一	副官 一	副官 一	部長 一	部長 一	部長 一	部長 一	部長 一	二
大尉同 相當官	大尉同 相當官		參謀 一	參謀 一	副官 一	副官 一	部長 一	部長 一	部長 一	部長 一	部長 一	二
中尉同 相當官	中尉同 相當官		參謀 一	參謀 一	副官 一	副官 一	部長 一	部長 一	部長 一	部長 一	部長 一	二
少尉同 相當官	少尉同 相當官		參謀 一	參謀 一	副官 一	副官 一	部長 一	部長 一	部長 一	部長 一	部長 一	二
下士官	判任文官		書記 六	書記 六	書記 六	書記 六	書記 六	書記 六	書記 六	書記 六	書記 六	二六
計	計	一	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	五三
乘馬	乘馬	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一九

備考

(一) 幕僚書記ノ内ニ乘馬兵科ノ下士官ヲ以テ之ニ充ツ

(二) 兵器部計手ノハ經理部計手ノ兼勤トス

(三) 軍醫部長ハ軍醫監ヲ以テ、獸醫部長ハ一等獸醫正ヲ以テ充ツルコトヲ得

(四) 法務部長及陸軍録事ハ當該師團軍法會議陸軍法務官及陸軍録事ノ兼勤トス

(五) 本表ノ外時號業務ノ為尉官ニ調査業務ノ為上長官(士官)ニ氣象業務ノ為尉官ニ
技手ノ通譯要員タル將校(通譯)四ヲ配屬ス

(六) 本表ノ外馬取扱者トシテ傭人一九ヲ配屬ス

(七) 本表ノ外所要ノ人馬ヲ増加スルコトヲ得

4160

附表第二

歩兵旅團司令部編制表

階級	區分	人	員	乘	馬
少	將	旅團長	一		二
少	佐	副官	一		一
大	尉	副官	一		一
中	尉				
曹長(軍曹)(佐長)		書記	二		
計			五		四
備考	(本表の外馬取扱者トシテ傭人一ヲ配屬ス)				

附表第三

歩兵聯隊編制表

階級	區分	人員數														合計
		聯隊本部	大隊本部	中隊	機關銃中隊	步兵砲隊	步兵砲隊	步兵砲隊	步兵砲隊	步兵砲隊	步兵砲隊	步兵砲隊	步兵砲隊	步兵砲隊	步兵砲隊	
大佐	大佐	1	1													1
中佐	中佐	1	1													1
少佐	少佐	1	1													1
大尉	大尉	1	1													1
中尉	中尉	1	1													1
少尉	少尉	1	1													1
特務曹長	特務曹長	1	1													1
曹長	曹長	1	1													1
軍曹	軍曹	1	1													1
伍長	伍長	1	1													1
上等兵	上等兵	1	1													1
一等兵	一等兵	1	1													1
計	計	1	1													1
一等軍醫	一等軍醫	1	1													1
二等軍醫	二等軍醫	1	1													1
三等軍醫	三等軍醫	1	1													1
看護長	看護長	1	1													1
看護兵	看護兵	1	1													1
蹄鐵工長	蹄鐵工長	1	1													1
上等工長	上等工長	1	1													1
銃工長	銃工長	1	1													1
計	計	1	1													1

(一) 大隊本部軍曹、内ハ書記ハ炊事科ノ分課トス
(二) 中隊上等兵、内ハ長勤務トシ兵ノ内輕機關銃手少クモ三六、刺ハ手四、通信手少クモ八(無線通信手要員ヲ含ム)、瓦斯兵一〇、一三等兵ノ内銃工兵少クモ六、縫工兵少クモ各四ヲ含有ス
(三) 機關銃中隊上等兵、内ハ長勤務トシ兵ノ内刺ハ手二、蹄鐵工兵少クモ各四ヲ含有ス
(四) 步兵砲隊上等兵、内ハ長勤務トシ兵ノ内刺ハ手四、觀測手要員少クモ一〇、通信手少クモ二、蹄鐵工兵少クモ各四ヲ含有ス
(五) 步兵砲隊兵ノ内大隊砲隊要員、聯隊砲隊要員、連射砲隊要員ノ比率ハ概ネ四三二トス但シ第九師團各步兵砲隊歩兵砲隊ニ在リテハ大隊砲隊要員、聯隊砲隊要員ノ比率ハ概ネ三二トス
(六) 看護兵ノ定員ハ上等看護兵一〇、二等看護兵各半數トス
(七) 中隊機關銃中隊及步兵砲隊軍曹、任長ノ定員ハ全部ヲ合シ軍曹一〇名、任長四四名トス
(八) 本表ノ外豫備馬三頭ヲ置ク
(九) 第九師團歩兵砲隊ニ在リテハ馬二匹ノ代ハ二匹馬ヲ以テス

附表第四

騎兵聯隊編制表

階級	區分	聯隊本部		中隊		聯隊(中隊二箇)計	
		人員	乘馬	人員	乘馬	人員	馬數
大(中)佐	聯隊長	一	二			一	二
大佐		一	二			一	二
中尉	副官	二	六	中隊長	二	五	一〇
少尉	尉補	一	二	四	八	九	一八
特務曹長				二	二	四	四
曹長	書記	二	二	二	二	六	六
軍曹	哨長	二	三	一四	一四	二	三一
上等兵				二〇	二〇	四〇	四〇
計		一	一七	一七三	一五八	三五七	三三三
主計	手計	一	一			二	一
縫工長		一				一	
靴工長		一				一	
一等軍醫		一	一			一	一
二等軍醫		一	一			一	一
看護長		一	一			一	一
看護兵				二	二	四	四
一等獸醫		一	一			一	一
二等獸醫		一	一			一	一
蹄鐵工長		三	三			三	三
銃工長		一				一	
鞍工長		一				一	
計		一五	九	二	二	一九	一三
合計		二六	二六	一七五	一六〇	三七六	三四六

考
(一) 聯隊本部軍曹ノ内ハ書記、ハ炊事掛ノ分課トス
(二) 中隊上等兵ノ内四ハ在長勤務トシ兵ノ内機關銃手要員少クモ一〇、喇叭手四、通信手少クモ一二、無線通信手要員ヲ含ム、蹄鐵工兵少クモ其元新兵一〇、一三等兵ノ内鞍工兵少クモ四銃工、縫工、靴工兵少クモ各二ヲ含有ス
(三) 看護兵ノ定員ハ上等看護兵、一三等看護兵各半數宛トス
(四) 中隊軍曹(在長)ノ定員ハ二中隊ヲ合シ軍曹一九名、在長九名トス
(五) 本表ノ外機關銃駄馬二頭、通信器械駄馬八頭、爆藥、破壊器械駄馬四頭計二三頭ヲ置ク

[illegible]

附表第六

山砲兵聯隊編制表

階級	區分	聯隊本部										大隊本部										大隊(中隊)計										聯隊(大隊)計										
		人	員	乘馬	人	員	乘馬	人	員	乘馬	馬	人	員	乘馬	人	員	乘馬	馬	人	員	乘馬	人	員	乘馬	馬	人	員	乘馬	人	員	乘馬	馬	人	員	乘馬	馬	人	員	乘馬	馬		
大	佐	1										1											1																			
中	佐	1										1											1																			
少	佐	1										1											1																			
大	尉	1										1											1																			
中	尉	1										1											1																			
特務	曹長	1										1											1																			
曹	長	1										1											1																			
軍	曹長	1										1											1																			
伍	長	1										1											1																			
上	等兵	1										1											1																			
一	等兵	1										1											1																			
計		1										1											1																			
三等主計正		1										1											1																			
一等主計		1										1											1																			
二(三)等主計		1										1											1																			
計		1										1											1																			
縫工長		1										1											1																			
靴工長		1										1											1																			
三等軍醫正		1										1											1																			
軍醫		1										1											1																			
看護長		1										1											1																			
看護兵		1										1											1																			
三等獸醫正		1										1											1																			
獸醫		1										1											1																			
蹄蹄工長		1										1											1																			
上等工長		1										1											1																			
火工長		1										1											1																			
鞍工長		1										1											1																			
鍍工長		1										1											1																			
木工長		1										1											1																			
電工長		1										1											1																			
計		1										1											1																			
合	計	4	2	1	1	1	1	1	1	1	1	5	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

考

備

(一) 聯隊本部軍曹ノ内ニハ書記、一ハ炊事掛、分課トス

(二) 中隊上等兵ノ内五ハ伍長勤務トシ兵ノ内喇ハ手ニ觀測手少クモ一ハ通信手少クモ三ハ無線通信手少クモ八ハ火工兵少クモ四蹄鐵工兵少クモ二ハ瓦斯兵ニ、一(三)等兵ノ内鞍工、鍍工、木工、縫工、靴工兵少クモ各四ヲ含有ス

(三) 看護兵ノ定員ハ上等看護兵、二(三)等看護兵各半數宛トス

(四) 中隊軍曹、伍長ノ定員ハ六中隊ヲ合シ軍曹四九名、伍長二三名トス

(五) 聯隊本部中(少)尉ハ上等工長ヲ以テ充ツルコトヲ得

考
(一) 聯隊本部軍曹ノ内ニハ書記、一ハ炊事掛、ノ分課トス
(二) 中隊上等兵ノ内ニハ伍長勤務トシ兵ノ内喇ハ手ニ、觀測手少クモ一、大通信手少クモ三、無線通信手少クモ一、火工兵少クモ一、蹄鐵工兵少クモ一、五等兵二、一(三)等兵ノ内鞍工、鍍工、木工、縫工、靴工兵少クモ各四ヲ含有ス
(三) 看護兵ノ定員ハ上等看護兵二、三等看護兵各半數宛トス
(四) 中隊軍曹、伍長ノ定員ハ六中隊ヲ合シ軍曹四九名、伍長二三名トス
(五) 聯隊本部中(少尉)ハ上等工長ヲ以テ充ツルコトヲ得

附表第七

工兵大隊編制表

階級	區分	大隊本部		中隊		大隊(中隊二箇)計	
		人員	乘馬	人員	乘馬	人員	馬數
大(中)佐	大隊長	一	一			一	一
大佐							
中(大)尉	副官	一	三	中隊長	一	一	一
特務曹長							
曹長	書記	一					
軍曹	哨長	一					
上等兵							
一(三)等兵							
主計	主計	一	五	一	五	一	五
計手		二				二	
銃工長		一				一	
軍醫		一				一	
省護兵		一				一	
上等工長		一				一	
鍛工長		一				一	
木工長		一				一	
機工長		一				一	
電工長		一				一	
合計		二二	五	一	五	四一	一五

備考

(一)大隊本部軍曹内ハ書記、一ハ故事掛ノ分課トス

(二)中隊上等兵、内五ハ任長勤務トシ兵ノ内哨手四、通信手少クモ八、木工、鍛工、石工手少クモ各六、機工手少クモ二、蹄鐵工兵少クモ二、瓦斯兵少クモ一〇、一三等兵、内銃工兵少クモ二、銃工靴工兵各四ヲ合有ス

(三)省護兵ノ定員ハ上等省護兵一(三)等省護兵各半數宛トス

(四)中隊軍曹、任長ノ定員ハ中隊ヲ合シ軍曹一八名、任長八名トス

通信隊編制表

階級	區分	人員	乘馬	靴馬
大尉	隊長	一	一	
中(少)尉		三	三	
特務曹長		二		
曹長		二		
軍曹(伍長)		一〇		
上等兵		一四		
一(三)等兵		八		
計		一一四	四	二四
計	手	一		
看護長		一		
看護兵		二		
電工長		一		
計		五		
合計		一一九	四	二四

備考

(一) 軍曹(伍長)ノ内一ハ炊事科ノ分課トス

(二) 上等兵ノ内三ハ伍長勤務トシ兵ノ内喇兵手ニ無線通信手少クモ五、電機工、機関工手少クモ各一、(三)等兵ノ内機工靴工兵少クモ各二、馬取扱兵五、合有シ又兵ノ内火少クモ一〇ハ瓦斯兵ヲ兼テ又

(三) 看護兵ノ定員ハ上等看護兵、二三等看護兵各一トス

(四) 軍曹、伍長ノ定員ハ軍曹七名、伍長三名トス

(五) 第九師團ニ在リテハ靴馬ニ代フルニ駄馬ヲ以テス

附表第九

輜重兵中隊編制表

階級区分	人員	乗馬	馬	轆駄馬
大尉	中隊長	1	1	
中尉	2		2	
特務曹長	1		1	
曹長	1		1	
軍曹(伍長)	8		4	
上等兵	14			4
一(三)等兵	76			4
計	103		9	40
主計	1			
縫(靴)工長	1		1	
軍醫	1			
看護長	1			
看護兵	2			
蹄鐵工長	1			
鞍工長	1			
機工長	1		1	
合計	103		10	40

備考

(一)軍曹(伍長)ノ内一ハ炊事掛ノ分課トス

(二)上等兵ノ内三ハ伍長勤務トシ兵ノ内喇ハ手四、自動車手要員少クモ、
(鍛工手四、發動機工手一、機工手四ヲ含ム)、蹄鐵工兵少クモ四、一(三)等兵ノ
内鞍工、縫工、靴工兵少クモ各ニヲ含有ス

(三)看護兵ノ定員ハ上等看護兵一(三)等看護兵各一トス

(四)軍曹、伍長ノ定員ハ軍曹六名、伍長二名トス

(五)兵用ノ馬匹ハ乗、轆、駄馬ヲ兼用ス

師團司令部留守部編制表

區分	階級		留守司令官	幕僚	兵器部	經理部	軍醫部	獸醫部	法務部	計
	中佐	少佐								
同相當官	同相當官	同相當官	—	參謀	部員	部員	部員	部員	部員	
高	尉	尉		參謀	部員	部員	部員	部員	部員	
等	尉	尉		—	部員	部員	部員	部員	部員	
文	尉	尉			部員	部員	部員	部員	部員	
官	尉	尉			部員	部員	部員	部員	部員	
計	尉	尉			部員	部員	部員	部員	部員	
乘馬	尉	尉			部員	部員	部員	部員	部員	

考	備
(一) 兵器部計手ハハ經理部計手ノ兼勤トス	
(二) 經理部部員技師ハ高等官四等ノ者ヲ以テ充ツルコトヲ得	
(三) 軍醫部部員ハ所在地衛戍病院附屬劑正ノ兼勤トス	
(四) 法務部部員及陸軍録事ハ當該師團軍法會議法務官及陸軍録事ノ兼勤トス	
(五) 本表ノ外陸軍平時編制附表第六號ノ增加人馬ヲ屬ス	
(六) 本表ノ外豫備馬五頭及派遣師團司令部翌年度定期補充用新馬三頭ヲ置クコトヲ得	
(七) 本表ノ外所要ノ人馬ヲ增加スルコトヲ得	
(八) 本表ノ外第三師團司令部留守部軍醫部二三等軍醫ハラ龍屬ス	

步兵聯隊留守隊編制表

アジア歴史資料センター

8260
0927

先屆

證 收 領	
月	招待狀 宛
日 領收印	
通	
出書文房官臣大軍陸	

考 備										編制表									
(一)本部書記ノ内ニハ炊事掛ノ兼勤トス (二)中隊上等兵ノ内ニハ伍長勤務トス (三)看護兵ノ定員ハ上等看護兵、(三)等看護兵各一トス (四)中隊軍曹、伍長ノ定員ハ軍曹五名、伍長二名トス (五)本表ノ外馬三頭及派遣部隊翌年度定期補充用新馬二十三頭ヲ置ク (六)本表ノ外騎兵第三聯隊留守隊ニハ騎兵第四旅團留守業務ノ爲、曹長一、軍曹(伍長)一ヲ配屬ス																			
										長	員	隊	留守隊(中隊)通計	人	員	馬	數		
合 計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	一〇五	九	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五		
軍 曹	青 記	一	一	一	一	一	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二		
上 等 兵	一(三)等兵	一	一	一	一	一	一	一	一	七	七	七	七	七	七	七	七		
計	計	六	六	六	六	六	六	六	六	一〇五	九	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五		
主 計	主 計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
總(執)工長	總(執)工長	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
軍 醫	軍 醫	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
看護長	看護長	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
看護兵	看護兵	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
獸 醫	獸 醫	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
蹄鐵工長	蹄鐵工長	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
銃工長	銃工長	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
鞍工長	鞍工長	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
計	計	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	九	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇		
合 計	合 計	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一〇七	九	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七		

附表第十二

騎兵聯隊留守隊編制表

階級	區分	留守隊本部		中隊		留守隊(中隊)通計	
		人員	乘馬	人員	乘馬	人員	馬數
少佐	留守隊長	1	2			1	2
大尉	副官	1		4中隊長		1	2
中尉				3	6	3	6
特務曹長				2	2	2	2
曹長	書記	2	2	2	2	4	4
軍曹	書記	1	1	7	7	8	8
上等兵				12	12	12	12
一(三)等兵				78	68	78	68
計		6	9	105	99	111	108
主計		1				1	
計手		2				2	
縫(靴)工長		1				1	
軍醫		1				1	
看護長		1				1	
看護兵				2		2	
獸醫		1				1	
蹄鐵工長		1				1	
銃工長		1				1	
鞍工長		1				1	
計		10	9	107	99	112	108
合計		16	9	107	99	112	108

備考

考

- (一) 本部書記ノ内ハ炊事掛ノ兼勤トス
- (二) 中隊上等兵ノ内ハ伍長勤務トス
- (三) 看護兵ノ定員ハ上等看護兵、(三)等看護兵各一トス
- (四) 中隊軍曹、伍長ノ定員ハ軍曹五名、伍長二名トス
- (五) 本表ノ外馬三頭及派遣部隊翌年度定期補充用新馬二十三頭ヲ置ク
- (六) 本表ノ外騎兵第三聯隊留守隊ハ騎兵第四旅團留守業務ノ爲曹長一、軍曹(伍長)一ヲ配屬ス

0927
8260

附表第十三

野砲兵聯隊留守隊編制表

階級	區分	留守隊本部		中隊		留守隊(中隊(箇)計	
		人員	乘馬	人員	乘馬	人員	馬數
中佐	留守隊長	一	一			一	一
少佐		一	一			一	一
大尉	副官	一	一	中隊長 一	一	一	一
中(少)尉		一	一	四	四	五	五
特務曹長				二		二	
曹長	書記	二	二	二		四	
軍曹	書記	二	二	一	七	一	七
伍長				一		一	
上等兵				一		一	
一(三)等兵				一〇		一〇	
計		一〇	一〇	一三九	五七〇	一四九	八五
主計		一				一	
計手		二				二	
縫工長		一				一	
靴工長		一				一	
軍醫		一				一	
看護長		一				一	
看護兵				二		二	
獸醫		一				一	
蹄鐵工長		一				一	
火工長		一				一	
鍛工長		一				一	
計		一	一	二	七〇	一四	八五
合計		二二	二〇	一四一	五七〇	一六三	八五

備考
備
(一)本部書記のハ炊事掛ノ兼勤トス
(二)中隊上等兵ノハ四ハ伍長勤務トス
(三)看護兵ノ定員ハ上等看護兵(三)等看護兵各一トス
(四)中隊軍曹、伍長、定員ハ軍曹七名、伍長三名トス
(五)留守隊本部中(少)尉ハ當分ノハ上等工長ヲ以テ充ツルコトヲ得

0928-2

附表第十四

山砲兵聯隊留守隊編制表

階級	區分	留守隊本部		中隊		留守隊中隊直計	
		人員	乗馬	人員	乗馬	人員	馬數
中佐	留守隊長	一	一			一	一
大尉	副官	一	一	中隊長 一	一	一	一
中尉		一	一	四	四	五	五
特務曹長				二		二	
曹長	書記	二	二	二		四	
軍曹	書記	二	二	一〇	五九	一	六三
上等兵				二		二	
上等兵				三		三	
計		一〇	一〇	一七四	五九	一八四	七四
主計	主計	一				一	
縫工	縫工	一				一	
靴工	靴工	一				一	
軍醫	軍醫	一				一	
看護長	看護長	一				一	
看護兵	看護兵			二		二	
獸醫	獸醫	一				一	
砲工	砲工	一				一	
火工	火工	一				一	
鍛工	鍛工	一				一	
計	計	二二	一〇	一七六	五九	一九八	七四
合	合	二二	一〇	一七六	五九	一九八	七四

備考
(一) 本部書記ノ内一ハ炊事掛ノ兼勤トス
(二) 中隊上等兵ノ内五ハ任長勤務トス
(三) 看護兵ノ定員ハ上等看護兵一、三等看護兵各一トス
(四) 中隊軍曹任長ノ定員ハ軍曹七名、任長三名トス
(五) 留守隊本部中尉一、當分ノ内上等工長ヲ以テ充ツルコトヲ得

附表第十五

工兵大隊留守隊編制表

階級	區分	留守隊本部		中隊		留守隊中隊一箇計	
		人員	乘馬	人員	乘馬	人員	馬數
中(必)	佐	留守隊長	一			一	一
大	尉	副官	三	中隊長	一	四	四
中(必)	尉			五	二	五	二
特務曹長				二		二	
曹長	書記	二		二		四	
軍曹	書記	一		一〇		一	
伍長				二		一	
上等兵				二		二	
一(三)等兵				一		一	
計		七	四	一六二	三	一六九	七
主計	手計	一				一	
計工	長	二				二	
靴工	長	一				一	
軍醫		一				一	
看護長		一				一	
看護兵				二		二	
銃工	長	一				一	
機工	長	一				一	
計		九		二	三	一二	
合計		一六	四	一六四	三	一八〇	七

考 備

(一)本部書記ノ内一ハ炊事掛ノ兼勤トス

(二)中隊上等兵ノ内五ハ任長勤務トス

(三)看護兵ノ定員八上等看護兵、一(三)等看護兵各一トス

(四)中隊軍曹、任長ノ定員八軍曹七名、任長三名トス

本協機用



六格部ノ内第 百 號

昭和十年八月二十三日
參謀本部第一課

滿洲派遣第三第九第十六師團留守部隊編成改正要領細則

1860

決定案

至急御意見アラハ承リ度

滿洲派遣第三、第九、第十六師團、同留守部隊、編成改正要領細則

其一 總則

第一條 本細則ハ滿洲派遣第三、第九、第十六師團、同留守部隊ノ編成改正要領以下要領實施ニ關スル細部ノ事項及同師團留守(残置)部隊兵ノ交代ニ關スル事項ヲ規定スルモノトス

第二條 要領實施ニ關シテハ特ニ規定スルモノノ外陸軍勤員計畫令細則、昭和十年陸滿機密第二ニ號滿洲派遣第九師團、同留守部隊並騎兵第三旅團編成派遣要領細則以下陸滿機密第二ニ號ト略稱ス其ノ他關係諸條規ヲ準用スルモノトス

其二 人馬

第三條 要領第三條第一號ニ依リ各部隊要員(數)ト

シテ特ニ陸軍大臣ノ配屬スル人馬及其ノ差出區分

ハ附表第一ノ如シ

第四條 第三、第九、第十六師團各部隊ノ昭和十年徵集

兵ハ之ヲ各當該留守(残置)部隊ニ入隊セシメタル

上派遣部隊編成改正所要人員ハ成ルヘク速ニ之ヲ

滿洲ニ派遣スルモノトス但シ已ムヲ得サル人員ハ

之ヲ後發セシムルコトヲ得

第五條 編成改正各部隊ヲ留守部隊人員充用區分ニ關

シテハ特ニ規定アルモノノ外左記各號ニ依ルモノ

トス

一 各師團輜重兵中隊ニハ昭和九、十年徵集兵ヲ概

ニ 半數充編入スルモノトス
 三 各部隊特(今)業員ニハ成ルハ步兵科ノ者ヲ充用スルモノトス
 三 各部隊特(今)業者及工務兵ノ員數ハ各當該修

業者ヲ含有スルモノトス

第六條 昭和八年徵集兵者同年以前ノハ各部隊ノ編成

改正完結後成ルハ速ニ之ヲ内地關係留守(残置)

部隊ニ歸還セシメタル上除隊ト滿洲ニ於テ除隊セシ

昭和三十二年陸支普第七七號山東ニ在ル部隊ニ屬ス
 關スル件ニ準シヒシムルモノトス

第七條 定員外幹部候補生(昭和十年徵集兵ニ付各部

隊ノ定員外トシテ配當セル幹部候補生引當人員ヲ

含ム)ハ在營間何レモ其ノ儘關係各部隊ノ定員外ト

ス

第八條 留守部隊ニハ成ルヘク昭和九年徵集兵ヲ充
用スルモノトス但シ陸軍平時編制附表第八號其一
備考第五號ニ依ル増加人員ハ昭和九、十年徵集兵各
半數迄ヲ又工兵大隊留守隊ニ在リテハ平時第三中
隊ノ昭和九、十年徵集兵ヲ充用スルモノトス
前項ノ為撤遣各部隊ハ各關係留守（残置）部隊所要
人員昭和九年ヲ概木昭和十年十一月二十日第九師團留守
部隊ノ者ニ在リテ迄ニ其ノ内地衛戍地ニ歸還セシム
ルモノトス

第九條 要領第四條ニ據リ平時部隊ノ缺員ニ對スル
補充ハ師團司令部官衙、學校ノ衛生部士官以下ニ限
リ差當リ師團長ハ陸軍大臣ニ所要ノ申請ヲ為シ其

ノ認可ヲ受ケタル後昭和七年陸軍省令第一號衛生
部員代用員並齒科醫採用規則ノ規定ニ準レ雇員備
入ヲ以テ一時之ヲ補フコトヲ得

第十條 第四、第六、第八條ノ派遣及歸還人員ハ部隊毎
ニ假編成ヲ行ヒ適宜引率者ヲ附スルモノトス

第十一條 歸還人員ニ屬スル者ニシテ引續キ療養ヲ
要スル者ハ關東軍衛生機關ニ残置スルコトヲ得此
ノ場合ニ在リテハ將校同相當官准士官ハ其ノ傷病
名、所屬部隊並官氏名ヲ、下士官以下ハ傷病名、所屬部
隊並人員ヲ陸軍大臣ニ報告シ且關係所管長官ニ通
報スルモノトス

犯罪者ニシテ軍法會議ニ於テ審議中ノ者アルトキ

ハ前項ニ準シ之ヲ残置スルモノトス

其三 兵器被服糧秣材料等

第十二條 編成改正部隊ノ部隊裝備ニ屬スル兵器ノ

定數ハ附表第二ニ依ルモノトス

第十三條 編成改正部隊戰用諸品ノ定數中給養器具

衛生材料獸醫材料戰時諸條規諸勤務令公用行李金櫃

ノ定數ハ附表第三乃至第七ノ如シ

第十四條 内地ヨリ派遣スル營内居住下士官兵ノ著

裝(携行)被服ハ左記各號ニ依ルモノトス

一 第三、第十六師團ノ者ニ在リテハ戰用諸品_{兵器ヲ除ク}

定數表_{除キ節外}ハ_{モノ}一_組トス_{及毛布ヲニ準シ}平時供用品

中第二裝程度ノモノ_{已ムヲ使用スルモノコトヲ得}ヲ使

用スルモノトス

二 第九師團ノ者ニ在リテハ陸満密第二ニ號ヲ準
用ス但シ第十六條ニ依ル歸還人員ノ残置人員ノ
残置品ハ之ヲ携行品ニ差継クモノトス

第十五條 派遣人員ノ個人(各馬)裝備用戰用諸品ハ蹄鐵
トス蹄鐵ハ編成管理師團附表第一ノモトニ在ニ於テ

完備ノ上派遣(携行)スルモノトス

第十六條 歸還人員ハ派遣ニ際シ携行(著裝)セル個人

裝備用戰用諸品

被服ニ在リテハ戰用諸品
定數表ニ依ル定數
除キ軍靴ハ二組トス

ヲ完

備ノ上^{定數ト補填ノ上}携行(著裝)歸還セシムルモ

ノトス但シ歸還途中必要ナルモノハ關東軍司令官
適宜之ヲ携行歸還セシメ到著部隊ハ之ヲ返送被服

6860

8360

度

陸橋橋高 分二二
ナ
ナ
ナ

及毛被服ニ在リ返納スルモノトス

第十七條

歸還人員ノ附刃セル刀劍ハ之ヲ滅刃スル

ヲ要セス但シ平時ノ使用ニ充ツヘキ刀劍ハ之ヲ滅

刃スルモノトス

第十八條

編成改正部隊所要ノ戦用諸品ハ現ニ各部

隊ノ保管スルモノ

第九師團ノ兵器中關東軍ヨリ交

還納トスルヲ充當シ過不足アルモノノ處理ニ關シテ

ハ左記各號ニ依ルモノトス

一 兵器ニシテ過剩トナルモノハ其ノ儘之ヲ當該

部隊ニ保管シ不足スルモノハ留守部隊ニ保管ス

ルモノヲ携行スルモノトス

前項ニ依ルモ尚不足スルモノハ陸軍兵器廠ニ請

ボスルト共ニ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

ニ 下士官兵ノ被服ニシテ過剩トナルモノハ之ヲ
當該部隊ニ保管スルモノトス

三 前ニ號以外ノ戰用諸品ニシテ過剩トナルモノ
ハ之ヲ關東軍ニ交付シ同軍ハ之ヲ第九師團ニ交
付シ其ノ過不足ヲ陸軍省ニ報告スルモノトス

第十九條 歸還セル部隊戰用品ノ復舊整理
ノモ十七條
ノ除ニ關シテハ昭和七年陸滿機密第六三號還送軍需
品及歸還部隊携行軍需品復舊整理規定ニ依ルモノ
トス

第二十條 調査擔任官ハ各部隊ノ携行歸還セル戰用
諸品ノ復舊整理區分則陸軍總務課計畫令細ヲ復歸完了
五

後二箇月以内ニ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

前項ノ報告ニハ編成ニ際シ交付セラル戦用充當品充

當過品、平時使用品ノ區分及數量等ヲ明カラシム

ルモノトス

其四

輸送

第二十一條

錢道船舶輸送ハ左記各號ニ依ルモノト

ス

一 先發(後發)人員等ノモノハ昭和十年陸滿密第二

〇ニ號時局ノ為滿洲及北支那ニ在ル部隊ノ補充

供給、還送及輸送ニ關スル特別規定ニ依リ處理ス

二 前項以外ノモノハ左記輸送處理官之ヲ處理ス

ルモノトス

參謀總長ハ該輸送處理官並關係アル諸官ニ對シ

直接區處スルモノトス

鐵道輸送 參謀總長ノ指示スル輸送處理官
船舶輸送 陸軍運輸部長

第二十二條 編成管理官及關東司令官ハ成ルヘク速

ニ派遣(歸還)人員材料ニ關スル輸送請求表樣式ハ

務令附録ニ準シ且希望スル輸各ニ通テ參謀總長及

關係輸送處理官ニ呈出(送付)シ輸送實施ニ關シ派

遣(歸還)部隊ヲシテ輸送處理官ノ區處ヲ受ケシム

ルモノトス

其五 經理

第二十三條 派遣(歸還)人員ノ内地乗船地(上陸地)ニ

六

0944

陸軍司令部

陸軍司令部
陸軍司令部
陸軍司令部

於ケル旅籠料ハ陸軍旅費規則第五表旅籠料三割増
以内ニ於テ實費支辨スルコトヲ得

第二十四條 歸還人員ハ復歸地歸著ノ日糧秣ハ歸還限

リ在滿陸軍部隊臨時給與令ノ適用ヲ停止ス

第二十五條 歸還復歸ニ要スル左記各號ノ經費ハ滿

洲事件費ノ支辨トス

一 歸還部隊及人馬ノ復歸地歸著ノ日糧秣ハ歸還迄

ニ要スル經費

二 歸還ノ際衛戍病院ニ入院シアル旅遣地還送患

者ニ係ル經費

三 歸還復歸ニ關シ特ニ要スル經費

其六 雜則

第二十六條 歸還人馬中人員ハ序品ニ於テ馬匹ハ乗
 船地、序品上陸地ニ於テ檢疫ヲ實施スルモノトス
 第二十七條 留守隊特別支給ノ兵器ハ附表第八ノ如
 ク該兵器ハ昭和十年度動員用兵器ヲ先ツ充當シ其
 ノ不足ハ陸軍兵器廠ヨリ交付スルモノトス

附表第一

陸軍大臣、特ニ配屬スル人馬並同差出區分表

被配屬部隊	配屬人	馬	差出區分
第三師團司令部	暗號業務尉官一、技手一		
第九師團司令部	調査業務上長官(主官)一、三等主計正(主計正)二、主計二(技手)一、暗號工長一		第十六師團留守隊置部隊ヲ含ム
步兵第七聯隊	大尉三、中尉一、三等主計正(主計正)一、軍医四、獸医一、鞍馬三、駄馬一三		第三師
步兵第三十五聯隊	看護長一		第五師
步兵第十九聯隊	上等看護兵三、東馬一、二、鞍馬二、大尉三、中尉一、三等主計正(主計正)一、軍医四、獸医一、鞍馬三、駄馬一三		第五師
步兵第三十六聯隊	看護長一		第十六師
騎兵第九聯隊	上等看護兵一、大尉一、中尉一、三等主計正(主計正)一、軍医四、獸医一、鞍馬三、駄馬一三		第十六師
小砲兵第九聯隊	看護長一		第十六師
工兵第九大隊	看護長一		第十六師
第九師團通信隊	看護長一		第十六師
第十六師團司令部	看護長一		第十六師
步兵第十六師團留守隊	看護長一		第十六師
騎兵第三聯隊留守隊	東馬一		
野砲兵第三聯隊留守隊	東馬一、鞍馬一		
步兵第九師團留守隊	看護長一		
工兵第九大隊留守隊	看護長一		
步兵第九師團留守隊	看護長一		
騎兵第二十聯隊留守隊	東馬一		
野砲兵第二十二聯隊留守隊	東馬一、鞍馬一		

備考
一、差出區分ヲ示ササルモノハ別ニ之ヲ述ス
二、上等看護兵ニ在リテハ昭和九年徵集兵ヲ充ツルモノトス
三、本表人員中在士官以下(滿洲派遣部隊ヨリ差出ス者ヲ除ク)ハ昭和十年十一月二十五日迄ニ關係留守部隊ニ到着セシムルモノトス
滿洲派遣部隊ヨリ差出ス在士官以下ハ昭和十年十二月上旬之ヲ直接被配屬部隊ニ到着セシムルモノトス

派遺諸部隊兵器表									
品目		師團司令部		步兵聯隊司令部		野砲兵聯隊司令部		工兵大隊通信隊	
三八式騎銃	三八式騎銃					二二〇	一八八		
三八式騎銃	三八式騎銃					二二〇	二二〇		
十四年式拳銃	十四年式拳銃			二六四	四				
十年式擲彈筒	十年式擲彈筒			五四					
八九式重擲彈筒	八九式重擲彈筒			二四	二				
九二式重機關銃	九二式重機關銃			二四	二				
空包銃身	空包銃身			二四	二				
高射用具	高射用具			二四	二				
甲器具箱組	甲器具箱組			六					
甲彈藥箱組	甲彈藥箱組	二		七八二					
乙器具箱組	乙器具箱組								
乙彈藥箱組	乙彈藥箱組								

[illegible]

0950

[illegible]

[illegible]

改造三八式 野砲彈藥		榴霰彈彈藥筒	九二式大銃彈彈藥筒	榴霰彈彈藥筒	榴霰彈彈藥筒	八四式山砲 彈藥	榴霰彈彈藥筒	榴霰彈彈藥筒	四一式山 砲彈藥筒	榴霰彈彈藥筒	榴霰彈彈藥筒	榴霰彈彈藥筒	八九式重砲 彈藥筒	八九式榴 彈	騎兵爆破用火藥火具	步兵中隊 小隊爆破用火藥火具	步兵大隊 器材小隊爆破用火藥火具	砲兵 前(中)馬用	砲兵 後馬用	九二式步兵砲輓馬具	九四式三十七 榴霰彈彈藥筒	身用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

側車 附自 動二輪 車	自 動 貨 車	乘 用 自 動 車	工兵大隊演習器材	山砲兵聯隊演習器材	野砲兵聯隊演習器材	騎兵聯隊演習器材	步兵聯隊演習器材	通信隊器材	工兵大隊器材小隊器材	工兵中隊小行李器材	工兵中隊携行帶器材	山砲兵聯隊無線通信器材(甲)	野砲兵聯隊無線通信器材(甲)	騎兵破壞器材	騎兵通信器材
三		三													
一		一													
							一								
														一	一
													一		
				一											
			一						一	=	=				
								一							
一	三 三 三														

[illegible]

附表第三

諸部隊給養器具定数表				
部隊	品目	濾水器	濾水車	炊具
師団司令部	部	二	一	二五
歩兵聯隊	隊	二七	一三	
騎兵聯隊	隊	五	二	
野砲兵聯隊	隊	一七	八	
山砲兵聯隊	隊	一三	六	
工兵大隊	隊	五	二	
通信隊	隊	二		
輜重兵中隊	隊	二	一	
備考	ハ本表ハ一隊ニ対スルモノトス ニ師団司令部ノ炊具ハ所要ニ應シ各部隊ニ交付スルモノトス			

諸部隊携行衛生材料定数表

考	備	輜重兵中隊	通信兵隊	工兵大隊	山砲兵聯隊	野砲兵聯隊	騎兵聯隊	步兵聯隊	師團司令部	部
		一		一	三	四	一		一	隊醫校隊醫校 二三班 二三班
								三		擔架 具
		一	一	二	九	二	二	二四	一	軍醫正 具
		シ 同 = 員定、醫軍、正醫軍								軍醫正 具
		シ 同 = 員定、長護着								軍醫正 具
		シ 同 = 員定、兵護着								軍醫正 具
		一		一	三	四	一	三	一	隊醫校 具
		シ 同 = 員定、醫軍、正醫軍								甲
		シ 同 = 員定、長護着								乙
		シ 同 員定、兵護着								丙

一 本表、外各部隊將校以下各人一箇死繃帶包ヲ又將校以下五人ニ對シ一箇死繃帶包ヲ携帶スルモノトス
 二 本表、外師團司令部ヲ除ク各部隊看護長、看護兵ノ背囊(鞍囊)ニ兵火副木四枚三角巾一〇枚ヲ入組ムモノトス

附表第五

諸部隊携行獸醫材料是數表

考 備	部 品		師團司令部	歩兵聯隊	騎兵聯隊	野砲兵聯隊	山砲兵聯隊	工兵大隊	通信隊	輜重兵中隊
	目									
部隊配置ノ關係上特に必要ナル材料ハ関東軍司令官之ヲ増加スルコトヲ得	獸醫板					四				
	甲獸醫行李	一	一	一	二		三			一
	乙獸醫行李	一	一	一	二		三			
	獸醫藥囊	シ 同 = 數ノ獸醫正								
	馬療藥囊	シ 同 = 數ノ長工鐵蹄								
	野戰蹄鐵工具	一	一	二	八	六			一	
	携帶蹄鐵工具	シ 同 = 數ノ兵工鐵蹄								
	化兵獸醫板	一								
	化兵獸醫行李			一	一	四	三			

戰時諸條規諸勤務令携行區分表

[illegible]

公用行本五金櫃定數表

附表第八

留守隊特別支給兵器表

品目	隊	九二式重機関銃					九二式重機関銃			十一式平射歩兵砲			十一式曲射歩兵砲			九二式歩兵砲		
		甲器具箱組	乙器具箱組	甲彈藥箱組	乙彈藥箱組	空包銃身	甲器具箱組	乙器具箱組	甲彈藥箱組	乙彈藥箱組	空包銃身	甲器具箱組	乙器具箱組	甲彈藥箱組	乙彈藥箱組	空包銃身	甲器具箱組	乙器具箱組
留守隊特別支給兵器表	步兵聯隊留守隊	四	一	四	四	四												
	騎兵聯隊留守隊	四	一	四	四	四												
	野砲兵聯隊留守隊	二	一			二												
	山砲兵聯隊留守隊																	
	留守隊																	

4960

[illegible]

九三式五十種觀測鏡	五						
九三式野戰輕測遠機	一						
九三式砲隊鏡	三		二				
九四式 三七種砲 用駄馬具	砲身用	二					
脚及器具箱用	二						
搖架及車輪用	一						
砲架用	二						
土軍式 步兵砲	砲身用	一					
砲架用	一						
駄馬具	砲藥箱用	一					
土軍式 步兵砲 用駄馬具	砲藥箱用	一					
砲藥箱用	一						
備	一	本表中九三式重機関銃、之ニ附属スル兵器ハ三年式機関銃、之ニ附属スル兵器ヲ以テ代用ス ルコトヲ得	二	九四式三七種砲、之ニ附属スル兵器ハ担架砲、之ニ附属スル兵器ヲ以テ代用シ又一部缺ク コトヲ得			

0460

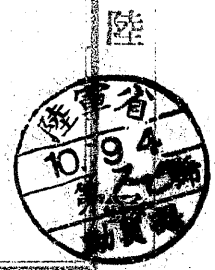
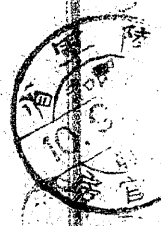
考

三、十四年式拳銃 同實包八二六年式拳銃 同實セヲ以テ代用スルコトヲ得

軍事機密 第六八

一

參謀本部 臨參機第三 號第三



滿洲派遣第三第九第十六師團、同留守
部隊編成改正要領制定御裁可件通牒

昭和十年九月三日 參謀總長載仁親王

陸軍大臣林 銑十郎殿

滿洲派遣第三第九第十六師團、同留守部隊編成
改正要領制定件別冊ノ通御裁可アリシニ付通牒
ス

送テ御裁可書ハ用齊後返戻アリ度

大島ヨリ参謀總長ニ御原 (市御老)

市裁可書返戻ノ件

左記ハ裁可書用齊ニ付返戻ス

田島源三郎三和九一和十等、同留守部隊編成改正要領制定書及別件
滿洲派遣部隊第一師、編成要領制定書及別件

陸軍機密第二九號

昭和十年九月五日

0972

保存期限	決裁指定	決行指定	年 月 日
------	------	------	-------------

政務次官 回付 決裁前連帶 課名 軍事事務課 主計		決行(決裁)後 回覽課名	
受 番 領 號	陸滿機密受第 六八 號		
起元廳(課)名	參謀本部		
件 名	滿洲派遣第九師團要員配属ノ件		
大臣			
政務次官	主務局長	高級副官	主務副官
參與官	主務課長	官房御用掛	主務課員
書記官	審配官		
審記者	審案		
主務局長		主務課長	
昭和十年十月三十一日		昭和十年十月三十一日	
提出		受領	
大官房		大官房	
了結		受領	
昭和十年十月三十一日		昭和十年十月三十一日	
(裁決)行決後 覽回		長局	
長課		長課	

陸軍

陸滿機密

參謀總長一圓答案

首題ノ件ニ付十月二十九日附臨參機第四一號
第一照會ノ趣異存ナク令達方取計フヘシ

陸滿機密第三一號 昭和十年十月廿一日

滿洲派遣第三、第九、第十六師團、同留守部隊編成
改正要領細則中改正ノ件 達案

關係陸軍諸部隊

昭和十年^{九月}陸滿機密第二八號滿洲派遣第三、第九、第十
六師團、同留守部隊編成改正要領細則中左ノ通改
正ス

年 月 日 陸軍大臣

陸滿機密第三二號 昭和十年十月卅一日

0974

附表第一ヲ附表第一其一ニ改メ附表第一其ニトシテ
別表ヲ加フ

陸軍



附表第一其二

陸軍大臣ノ特ニ配属スル人員		同差出區分表	
師配属	差出師團(軍)	配属人員	要
近衛師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第二師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第三師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第四師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第五師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第六師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第七師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第八師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第九師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第十師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第十一師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第十二師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第十三師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第十四師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第十五師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第十六師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第十七師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第十八師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第十九師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第二十師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第二十一師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第二十二師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第二十三師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第二十四師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第二十五師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第二十六師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第二十七師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第二十八師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第二十九師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第三十師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第三十一師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第三十二師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第三十三師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第三十四師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第三十五師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第三十六師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第三十七師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第三十八師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第三十九師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第四十師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第四十一師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第四十二師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第四十三師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第四十四師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第四十五師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第四十六師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第四十七師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第四十八師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第四十九師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第五十師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第五十一師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第五十二師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第五十三師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第五十四師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第五十五師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第五十六師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第五十七師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第五十八師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第五十九師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第六十師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第六十一師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第六十二師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第六十三師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第六十四師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第六十五師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第六十六師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第六十七師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第六十八師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第六十九師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第七十師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第七十一師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第七十二師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第七十三師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第七十四師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第七十五師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第七十六師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第七十七師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第七十八師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第七十九師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第八十師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第八十一師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第八十二師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第八十三師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第八十四師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第八十五師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第八十六師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第八十七師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第八十八師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第八十九師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第九十師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第九十一師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第九十二師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第九十三師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第九十四師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第九十五師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第九十六師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第九十七師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第九十八師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第九十九師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	
第一百師團	步兵 砲兵	步兵 砲兵	

一、本表人員ノ差出ニ當リテハ各兵種階級毎ニ任官年次ヲ概ネ各年次ニ平均セシムルモノトス但シ他ノ師團ヨリ轉属セシ者ヲ差出スモノニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

二、第三十六師團長ハ前號第二項ノ人員ヲ配属部隊階級ニ区分シ或ルハク速ニ第九師團長ニ通報スルモノトス

三、第九師團長ハ本表人員ノ配属部隊ヲ定メテ之ヲ關係師團長(軍司令官)ニ通報スルモノトス

四、關係師團長(軍司令官)ハ前號ニ基キ配属人員(滿洲派遣部隊)ヲ差出ス者ヲ除クヲ昭和十一年十一月二十五日迄ニ關係留守隊ニ到着セシムルモノトス

五、滿洲派遣部隊ヨリ差出ス配属人員ハ昭和十一年十二月上旬迄ニ直接配属部隊ニ到着セシムルモノトス

六、第四、第九師團ヨリ轉属中人員ハ不足スル時ハ不足人員ヲ第三師團ニ増加スルモノトス

七、第四、第九師團ヨリ轉属中人員ハ不足スル時ハ不足人員ヲ第十師團ニ増加スルモノトス

9260

參謀本部
陸軍機密第四一號第一

滿洲派遣第九師團要員配屬ノ件照會

昭和十年十月二十九日 參謀總長 載 仁 親 王

陸軍大臣 川 島 義 之 殿

昭和十年陸滿機密第二八號滿洲派遣^{第三}第九、第十六師團、同留守部隊ノ編成改正要領細則附表第一ノ追加トシテ第九師團ニ配屬スヘキ人員並其差出區分別表ノ通起案セシニ付異存ナクハ令達方取計ハレ度照會ス

日本標準規格 B-5

陸軍大臣宛 發信者 朝鮮軍司令官
朝參一七五
陸滿密第二號ニ依ル第三第十六師團留守部隊要員ハ
十一月十二日午後三時〇分清津出帆ヲ以テ鮮内通過ヲ完了セ
リ

電報譯

十一月十二日午前六時〇二分發

涉秘第二八三號

陸軍省 10.11.13

陸軍省 10.11.14 防備課

陸軍省 10.11.13

陸軍省 10.11.14 電報課



(終)

第四師團編第一三八號

滿洲派遣第九師團編成

改正要員差出件報告

昭和拾年十一月廿二日

陸軍大臣 川島義之殿 第四師團長 穂彦王

昭和十年陸滿機密第三號附表第一其一
其二依り當師團ヨリ差出スヘキ第九師團
要員ハ十一月二十二日大阪發、夫々關係留
守部隊ニ向ハシメタリ



大阪・廣本納

三留臨時第三八九號

臨時編成部隊ノ編成改正完結ノ件
報告

昭和十年十一月二十五日 第三師團長 岩越恒一

陸軍大臣 川島義之殿

昭和十年九月軍令陸甲第十號要領第二條ニ基ク左記
臨時編成部隊ハ昭和十年十一月二十五日其ノ編成改正
ヲ完結ス

左記

(裏へ)



1860

第三師團司令部留守部

歩兵第六聯隊

歩兵第六十八聯隊

歩兵第十八聯隊

歩兵第三十四聯隊

騎兵第三聯隊

野砲兵第三聯隊

工兵第三大隊

留守隊

陸軍第六師團
參同文

電報譯 十一月二十五日 午前午後五時三十分發

大臣宛 發信者 第三師團長

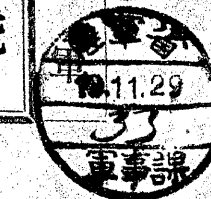
三師留臨滿三八七

昭和十年九月軍令陸甲第十號要領第二條ニ依ル

滿洲派遣第三師團同留守部隊内留守部隊全部

隊ノ編制改正ヲ完結ス

十一月二十五日



第 號

軍事機密第六八

第十四師 參動發第四二八號
團司令部

配屬人員ニ關スル件報告

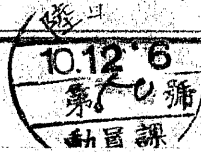
昭和十年十二月三日 第十四師團長 末松茂治

陸軍大臣 川島義之殿

昭和十年九月三日陸滿機密第二八號滿洲派遣第三、第九、第十六師團同留守隊編成改正要領細則附表第一ニ據ル左記人員十一月二十五日被配屬部隊留守隊ニ到着セシメタルニ付報告ス

記

步兵第三十六聯隊要員	看長 二
山砲兵第九聯隊要員	看長 一



陸軍

陸軍大臣宛

參同文

電報譯十二月五日午前午後六時一〇分著

陸軍大臣宛 發信者

第九師團留守司令官

九師留參動一七六

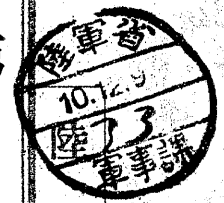
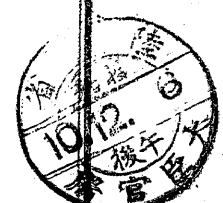
軍令陸甲第十號ニ依ル第九師團留守部隊ノ編制

改正十二月五日完結セリ

(終)

第 號

軍



5860

第六十八號九

電報譯

一月一日 午前午後 五時五分 著

大 臣 宛

發信者

第十六師團留守司令官

一六號留參九一

渡部部隊豫定ノ如ク橋成地ヲ出發ス。

(終)



第 號

参同文

電報譯

一二月三日午前後一時五十分發

第

號

陸軍大臣宛

發信者 第十六師團留守司令官

一六師シ留九。

渡満部隊ハ本十三日豫定ノ如ク大阪港ヲ出帆ス

(終)

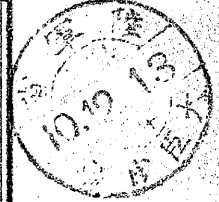


問

陸軍省

第六

二



物

参月文

常務

第

號

電報譯

十一月十一日 午前

一時三十分 發著

大臣宛

發信者 第九師團留守司令官

九師留守第九八九

派遣部隊要員ハ豫定ノ如ク各

其衛戍地ヲ出陣セリ

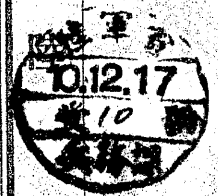
大臣宛
三師留臨満四五三
昭和十年陸海機密第二八號第四條ニ依ル歩兵第三十四
聯隊派遣人員材料輸送計畫表ニ示ス日次ニ於テ
其衛戍地ヲ出發セリ
十二月十三日

電報譯

十二月十三日午前二時五十分發
著

第 號

満洲六八三三



6860

滿洲
三八
五

秘

參同文

電報譯

一月一日午前午後一時五十分著

陸軍大臣宛

發信者

第三師團留守司令官

三師留歸滿四五四

昭和十年陸滿機密 第一八聯 第四條ニ依ル歩

兵第十八聯隊通信隊、工兵第三大隊、步兵第

六聯隊、野砲兵第三聯隊、第三師團輜重中隊、

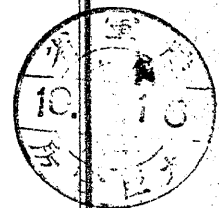
騎兵第三聯隊、步兵第六十八聯隊ノ派遣人員

材料ハ鐵道輸送計畫表ニ示ス日時ニ於テ大々

其歸成地ヲ出發セリ。

十二月十四日

(終)



號



0660

第 八 頁

参 同 文

電 報 譯

一 二 月 一 五 日 午 前 後 五 四 時 三 一 分 發 著

大 臣 宛 發 信 者 第 三 師 團 留 守 司 令 官

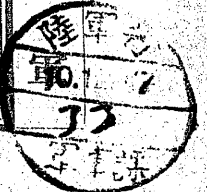
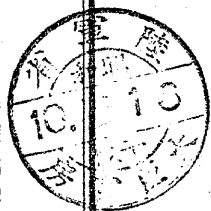
三 師 留 臨 稿 四 五 五

十 二 月 十 三 日 三 師 留 臨 稿 第 四 五 三 號 及 同 十 四 日 三

師 留 臨 稿 第 四 五 四 号 電 報 告 二 基 全 部 隊 ハ 本 日

午 後 舞 鶴 港 ヲ 出 帆 セ リ 十 二 月 十 五 日

終



1660

秘
信

六八
其
一五

第

號

電報譯

十二月二十日午前午後

一時三十分著

陸軍大臣宛

發信者

朝鮮軍司令官

朝鮮參二二

軍令陸甲第十號ニ依ル第三第十六師團滿洲派

還部隊ハ十二月十九日午前七時十二分其最終列車ノ南

陽驛通過ヲ以テ無事鮮内ノ輸送ヲ終了セリ

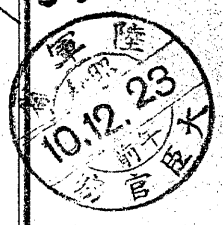
(終)



2660

送
二八
一六

参同文



陸



第
號

電報譯
二月二日午前午後
五時二九分發

大臣宛
發信者
第九師團長

九師参電ニヨル

十二月二十二日滿洲派遣第九師團同留守部隊ノ

編制改正ヲ完結ス。

8660

記

修

六

二

參同文

電報譯

十二月五日午前

二時三十分發

大臣宛

發信者

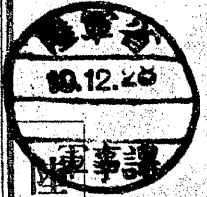
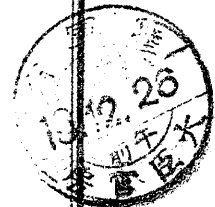
第十六師團長

一六師參電七二二

昭和十年軍令陸甲第十條ニ基テ第十六師團ノ編制

改正六十二年二十四日完結ス

(終)



0994

西核 六八 一八

電報譯

二月二十九日午前

一時五十分發

大臣宛

發信者

朝鮮軍司令部

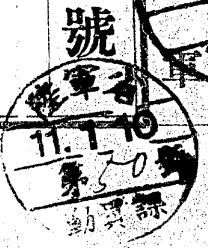
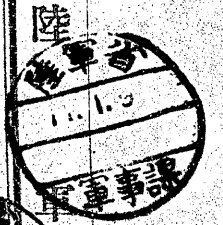
朝鮮 二一七

軍令陸軍第十師一旅内地歸還

第三第十六師團部隊ハ十二月二十九日

午前八時清津出帆ヲ以テ鮮内輸

送ヲ無事一終了セリ



閱

5660

陸松

六八

一九



陸

第



參同文

電報譯

十二月二十八日午前午後三時五十分著

陸軍次官

宛

發信者

第三師團長

三師參電

昭和十年軍令陸甲第十號ニ基ク滿洲派遣第三師團

編成改正十二月二十五日完結ス

(終)

9660

大臣宛 電信者第九師團留守司令官
九師留守部ニ〇五
陸高機密第二八号 第六條ニ依ル
帰還人員十二月二十八日無事
内地部隊ニ到着ス

電報譯

十二月二十八日午前七時

午後三時三十分發

参同文

第 號



さ 陸軍 68

参同文

第 號

電報譯

二月二十九日午前午後

三時一六分著

大臣宛

發信者第三師團留守司令官

三師留略滿四七〇

昭和十年陸滿機密第二八號第六條

歩兵第十八聯隊 野砲兵第三聯隊

歩兵第三十四聯隊 内地歸還人員ハ二

十九日無事 宇島ハ上陸アリ

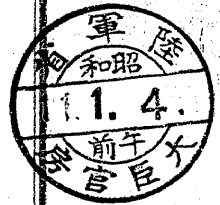


8660

問

第 八

二二



陸

軍



電報譯

二月三十日 午前午後

一時三十分 發著

参同文

第

號

大

臣

宛

發信者

第三師團留守司令官

三師留臨満四七一

昭和十年陸満機密第二八號第六條ニ依ル工兵第三

大隊第三師團通信隊第三師團輜重兵中隊ノ内地歸

還人員ハ三十日無事宇品へ上陸ヲ終ル。

6660

為替 七十八 二三



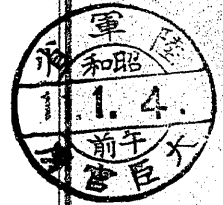
電報譯

参同文

月 日 午前 午後

時 時

分 分
著 發



第



大 臣 宛

發信者 第三師團留守司令官

三師留臨満四七二

二十九日附三師留臨満第四七。號報告ニ掲クル部隊ノ

人員ハ鉄道輸送計畫表ニ示ス日時ニ於テ天々其衛戍地

ニ無事到着セリ

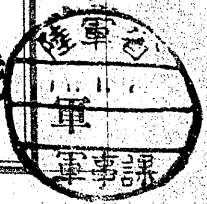
當該各部隊ノ除隊日時ハ一月二日朝食後トス

為拂
三八

二四



陸



参同文

電報譯

一月一日午前六時五十分發

第

號

大臣

宛

發信者 第三師團留守司令官

三師留臨滿第四七三

十二月三十日附三師留臨滿第四七一號報告ニ係ル部隊ノ

旅團ハ鐵道輸送計畫表ニ示ス日時ニ於テ夫々其衛戍

地ニ無事到着セリ。

當該各部隊ノ除隊日時ハ一月四日朝食後トス。

1001

陸軍省 陸軍部 第三師團

三師團滿第九二號

滿洲派遣第三師團ノ編成改正完結ノ件報告

昭和十年十二月二十八日

第三師團長

岩越

恒

陸軍大臣 川島 義之 殿

昭和十年軍令陸甲第十號ニ基ク滿洲派遣第三師團ノ編成改正ハ
十二月二十五日完結セシニ付報告ス



陸軍

陸

軍



昭和九・八（大阪・廣本館）

1007

軍

陸軍

第十六師團

第八

三

陸

軍

一六師參第一、三一三號

編成改正完了ニ關スル件報告

昭和十年十二月二十六日 第十六師團長 兒玉友雄

陸軍大臣 川島義之殿

昭和十年軍令陸甲第十號滿洲派遣第三、第九、第十六師團同留守部隊編成改正要領ニ基ク第十六師團ノ編成改正ハ昭和十年十二月二十四日完了シタルニ付報告ス



昭和九・八（大阪・廣本録）

1000

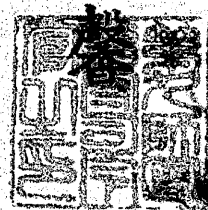
九師留參勤第八號

後發人員出發ノ件報告

昭和十一年一月十一日

第九師團留守司令官中村

陸軍大臣 川島義之殿



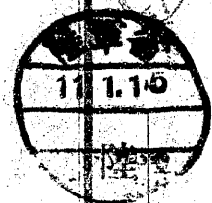
昭和十年陸海機密第二八號第四條但書キニ據ル後發人員（特務曹

長以下三十八名）一月八日衛戍地ヲ出發シ一月九日宇品ヲ出帆セ

シニ付報告ス

迨テ一月十二日大連上陸ノ豫定ニ付申添フ

滿洲第六十八師團



68

問



1004

秘
信
六
八

二
九

一
月
十
六
日

第
九
號

陸
軍

第
九
號

電報譯

一

月十六日午前

時四十分發

大臣

宛

發信者

第十六師團留守司令官

十六師留參一。八

後發人員八十二名二月十六日豫定、如ク神戸港ヲ出

帆ス

(終)



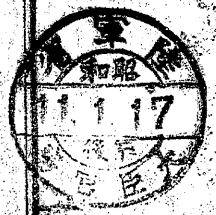
陸

軍



陸軍省第六十八號

三〇



三師臨滿第九五號

昭和十年滿洲派遣第三師團同留守
部隊ノ編成完結書類提出ノ件報告

昭和十一年一月十日

第三師團長 岩越 龍一

陸軍大臣 川島 義之 殿

昭和十年軍令陸甲第十號滿洲派遣第三、第九、第十六師團同留守
部隊編成改正要領第七條ニ據ル首題ノ件左記ノ通り報告ス
追テ留守部隊ノ報告ハ昭和十年十一月二十五日三師留臨滿第三
九一號ニ依ル報告ヲ別紙ノ如ク訂正シタルモノナルニ付承知相
成度申添フ

左記

人部一覽表
當課三保管
一月二十日
動員課
印者務主

職員表
一月三十日
印者務主
第七官

一、昭和十年滿洲派遣第三師團編成終結日一覽表

二、昭和十年滿洲派遣第三師團編成改正將校同相當官
准士官
ヲ含ム
職
員表

三、昭和十年滿洲派遣第三師團編成改正人馬一覽表

日三編留編離學三

職ヲ辭替

四、昭和十年滿洲派遣第三師團編成改正將校同相當官



昭和十年六月一日

軍事

第六八 號 其三

師留臨稿第四八九號

第三師團編成改正將校同相當官職員表

ニ關スル件報告

昭和十一年二月一日

第三師團長岩越恒

陸軍大臣川島義之殿

一月十日附師臨稿第九五號ヲ以テ報告セシ書類
中首題ノ職員表一部訂正シタルニ付別紙ノ通報
告ス

追テ一月二十八日陸機密人第二八號人事局長ノ照
會ニ基キ訂正シタルモノニ付為念申添フ



800T

軍事機密第六八三二

關參一發第一一〇三號

第三第四獨立守備隊將校同相當官
ヲ含ム
職員表並人馬一覽表提出ノ件報告

昭和十一年五月十五日
關東軍司令官 植田 謙吉

陸軍大臣 伯爵 寺内 壽一 殿

昭和十年軍令陸甲第九號附則ニ依リ編成充實セル第三第四獨立
守備隊ニ關スル首題ノ件別紙ノ通報告ス

七月七日
日 補

人馬(覽表)	主務者印
八當課ニ保實	
五月廿二日	動員課

(大野高木宛)

5.21
陸軍大臣

15.22
第50師
動員課

11.5.22
44
補任課